

全脳アーキテクチャからの社会への貢献

 松尾・岩澤研究室
MATSUO-IWASAWA LAB UTOKYO

許諾なく撮影や第三者への
開示を禁止します



1993年 香川県立丸亀高校卒業

1997年 東京大学工学部電子情報工学科卒業

2002年 同大学院博士課程修了、博士（工学）

産業技術総合研究所 研究員

2005年 スタンフォード大学客員研究員

2007年 東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 准教授

2014年 東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 特任准教授

2019年 東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター／技術経営戦略学専攻 教授

2017年～ 日本ディープラーニング協会 理事長

2019年～ ソフトバンクグループ株式会社 社外取締役、人工知能学会理事、情報処理学会理事
デジタル市場競争会議 構成員

2021年～ 新しい資本主義実現会議 有識者構成員

2023年～ 内閣府 AI戦略会議 座長

2024年～ 内閣府 AI制度研究会 座長、東京都AI戦略会議 座長
一般社団法人AIOボット協会 理事

2025年～ パナソニックホールディングス株式会社 社外取締役

- 第1回全脳アーキテクチャ勉強会
 - 2013-12-19
 - 山川、一杉、松尾
- AIがそろそろできるはず
- 脳との関連が重要
- 2014 WBAI立ち上げ
- 2015 AIST AIセンターや理研AIPの立ち上げにも尽力
- それから10年
- ディープラーニングの興隆、LLMの興隆
- GPT-5
- AGIへ向けて：脳との関係性がさらに重要に

多くの識者がAGI（Artificial General Intelligence）の実現を5年以内と予想。
人間の能力を大きく凌駕するASI（Artificial Super Intelligence）も10年以内

専門家	発言時期	実現時期	実現時期に関する意見	ソース
Tesla CEO イーロンマスク氏	2024年 4月	2026年 以内	ノルウェー銀行CEOとのオンライン対談で「最も賢い人間より賢いのがAGIと定義するなら、 来年末か2年以内だろう 」と発言 ※2023年7月のxAI発足時には、「 AGIは2029年ごろに登場する 」と発言	イーロン・マスク氏「AIの知能、2025年末に人間超え」 - 日本経済新聞
ソフトバンクグループ代表 孫正義氏	2024年 10月	2027年 以内	SoftBank World2024の講演の中で、「 AGIは2～3年、ASIは10年以内に実現するだろう 」と発言 ※SoftBank World2023の講演では、「 AGIは10年以内に実現する 」と発言	SoftBank World 2024 ソフトバンク
OpenAI CEO サム・アルトマン氏	2025年 1月	2029年 以内	ブルームバーグとのインタビューの中で「 AGIは現トランプ大統領の在任中（つまり今から4年以内）に実現されるだろう 」と発言	Sam Altman's AI Doublespeak Paints OpenAI as Safe - Bloomberg
Anthropic CEO ダリオ・アモデイ氏	2025年 2月	2027年 以内	ニューヨークタイムズのインタビューで「（AGIと事実上同義とされる）あらゆる仕事において人間と同等、あるいはそれを凌ぐAIは、 今後1～2年の間に実現されるだろう 」と発言	Anthropic's C.E.O., Dario Amodei, on Surviving the A.I. Endgame - The New York Times
Google DeepMind CEO・ 2024年ノーベル化学賞受賞 デミス・ハサビス氏	2025年 3月	2035年 以内	ロンドンで開いた説明会で、 AGIが「今後5～10年以内に登場するだろう 」と発言	Human-level AI will be here in 5 to 10 years, DeepMind CEO says
元OpenAIガバナンス研究者 ダニエル・ココタジロ氏 ハーバード大学 ロメオ・ディーン氏、Eli Lifland氏 など5名のAI専門家チーム	2025年 4月	2027年 以内	論文で2025年から2027年までのAI発展を月単位で具体的に予測 「 2027年にはAGIに到達し、その数か月後には人工超知能（ASI）さえ現れる可能性がある 」と結論づけた	AI 2027

人間と同等以上の知能を持った**AGI**（Artificial General Intelligence; 汎用人工知能）の登場によって、産業や社会が大きく変わることが予想される。

- 人類史上初めて、「**認識**」「**判断**」「**思考**」を**人間以外のものに置換**できるようになる
- 多くの事業で、人間の仕事と、AI・機械の仕事のリバランスが起こる
- 人間が価値を感じるものは、人間の仕事に。そうでないものはAIに。多くの「後ろ側の仕事」はAIに。
- **組織の形が変わる**。現在は人間の認知的制約をもとに組織の構造が決まっている。
- 少人数で大きな事業のオペレーションが可能になる。（cf. たった 1 人でユニコーン企業を作れるようになる）
- **ノウハウが人間ではなく、データ、AIに溜まる**ようになる。
- 人間のノウハウや認知的制約ではなく、事業を組み立てる要素によって業種が分かれるようになる。同じ要素であれば複数の事業を行いやすくなり、**規模の経済が効きやすくなる**。
- ノウハウが人間にたまることでスケールしにくかった事業ほど、新たにスケールするようになる。
- **AIの性能が、企業の競争力にも直結する**。特に、高い性能のAIを持つ企業が自社のみ性能の制限なしのAIを用いる可能性。
- 科学技術がAIによって進むようになり、**AIの性能が研究開発力にも直結する**。
- 教育の形が変わる。さまざまな考え方やものの見方を効率的に頭に入れ、**俯瞰的な理解**を持つようになる。
- 選挙や政治などの**社会的意思決定にも影響**。人の意見をAIにより容易に変化させられる可能性。
- **安全保障にも重大な影響**。特にサイバー攻撃の能力が格段に上がる。AIの能力が国防の能力にも直結する。
- 知能の仕組みが解明され、**人間の死生観**が変わる。

- AGIへ向けて：脳との関係性がさらに重要に
- WBAIのますますの発展とご参加の皆様のご活躍を祈念いたします

